

令和8年度第1回豊中市地域包括支援センター運営協議会議事録

令和8年(2026年)6月23日(火) 14:00～15:30

まるぷらっと（地域共生センター）西館3階大会議室

□出席状況（豊中市地域包括支援センター運営協議会委員総数5名中4名出席）

委 員	◎秦委員 小竹委員 高谷委員 加島委員
事務局	長 寿 安 心 課：森本課長、野田主幹、島田課長補佐、時副主幹兼相談支援係長、 岡部副主幹、長坂主査、貴志 長寿社会政策課：高木課長補佐、佐飛係長 健 康 推 進 課：徳山課長、前川係長
その他	豊中市地域包括支援センター連絡協議会 会長 中央地域包括支援センター 木下管理者

（◎＝会長）

□傍聴者：なし

□議題

1. 令和7年度地域包括支援センター事業報告及び令和8年度地域包括支援センター事業計画について
2. 令和7年度認知症初期集中支援チーム事業報告及び令和8年度認知症初期集中支援チーム事業計画について
3. 豊中市地域包括支援センター運営基本方針について
4. その他

□議事内容

議題1 令和7年度地域包括支援センター事業報告及び令和8年度地域包括支援センター事業計画について

事務局・中央包括 木下管理者 <資料説明等>

<質疑・意見交換>

会 長 資料2-1のグラフのデータは、介護予防支援および介護予防ケアマネジメント業務の居宅介護支援事業所へのケアプランの委託率が、例えば北東部圏域は89%ですが、委託率が高いということを表わすために作成したのですか。

事務局 そのとおりです。

会 長 委託作成と包括の自作成ということですね。

事務局 そのとおりです。

会 長 中央包括にエンディングノートの取組みのことをご報告いただきましたが、ACP（人生会議）との関係はどのようにとらえておられますか。

管理者 自包括で作成したエンディングノートは、訪問時に持っていき、訪問者宅で説明させていただくことが多いです。医療の観点からご自身のことを考えていただく方がよいと判断した場合はACPのお話をします。切り口はいろいろあっても、将来の自分のことをあらかじめ考えておくこと、誰かに伝えておくことが大切であることを啓発するのが目的なので、そのとき所持していた、あるいは目の前にあったツールを提示しながら説明しており、明確にエンディングノートとACPを切り分けていることはありません。

委 員 他の包括と交流はありますか。

管理者 他の包括とは、管理者であれば、管理者会議があります。また、職種ごとに集まり情報共有することもあります。包括の圏域をこえて他の包括と共催でケアマネジャー向けの研修などを開催することもあります。そのほか、権利擁護に関する事業など7包括全体が会議体に移り集まりながら取り組む事業も多くあります。その場を通じて、活動の情報共有をしながら、大きなずれがないように活動しています。年数回市が企画する発表会や研修もあり、そういった場でも他の包括の方の取組みを知る機会があります。私たちがよかったなと思う取組みがあれば他の包括に情報提供するなど交流は日々行っています。

委 員 資料1の収支報告書の人件費の支出のところで、よくわからないのですが、中央包括の主任ケアマネジャー3人分と他の包括の主任ケアマネジャー4人分の金額がほぼ変わらないというのがちょっと気になった点です。

管理者 包括は7法人が運営しています。給与は各法人で異なりますので、運営法人によって金額が変わってまいります。

会 長 今のご質問にも関連するのですが、資料2-1のグラフのデータでも、プラン作成を包括が直で実施している割合と、居宅介護支援事業所に委託している割合が包括でかなり異なっています。豊中市と同程度の人口規模の自治体では、包括が直で実施する割合が圧倒的に多いところもおそらくあると思います。豊中市では、運営法人の意向によって割合が変わってくるのか、受託してもらえるケアマネジャーが少ないなど、担当圏域の事情があるのか、教えていただければと思います。

管理者 他の法人のことは分からないので、中央地域包括支援センターのことでお答えすると、委託の比率を減らして、包括の直プランにした方が収支的にはよいのは理解していますが、個々の職員のキャパシティとか、それまで、包括に来るまでに経験した職場にも差がありますので、負荷をかけ過ぎないということも必要です。複合的な課題を有する相談対応件数が多くなり、繁忙を極める中で、新規のケアプラン作成の相談があったときには、直か委託か総合的に判断しながら取り組んでいます。

会 長 ありがとうございます。市の説明だと、委託の件数が多いと、収入が下がり、直プランが多いと収入が上がるということで、資料1の収支報告の資料からも見てとれます。資料1をグラフ等にして相関的なところを分かりやすくする工夫をしていただければよりわかりやすいかと思います。統計学では疑似相関ということで、相関はあると思われるが、本当に相関しているかが明確ではないという状態をいいますが、結局人件費かと思いながらも結論はよくわからないと思っているところです。

さて、6月の初めに埼玉県川口市でケアマネジャーが殺害されるという大変痛ましい事件がございました。心からご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

ケアマネジャーについては、シャドーワークのことが全国的に問題になっています。シャドーワークの延長線上にもなると思いますが、過度な要求などいわゆるカスタマーハラスメントの問題があり、ケアマネジャーがそういったことを相談できる職場環境が介護事業所にあるのか。市のガイドラインがあるのかということもあります。総合相談の件数や、ケアプランの委託にも関連してくると思いま

す。ケアマネジャーの不足と高齢化で、2040年を見据えたときにどうしていったらいいのか、現場の思いなどありましたらお聞かせください。

管理者 私個人の考えになりますが、包括業務に従事するまでは、介護保険事業所で仕事をしていたり、今は主任ケアマネジャーの資格でお仕事をさせていただきますが、包括職員の中には、ケアマネジャー以外の職種の職員も多くおり、どこまでがケアマネジャーの業務か、どこまで要求していいのかは、常に意識をしながら判断しているつもりです。また、居宅介護支援事業所へのプランの委託では、早い段階からケアマネジャーをお願いをしたいところもありますが、ケアマネジャーがケアプランを立てて利用していただかないと費用が発生しない、収入が発生しないところも十分理解しているので、そこまではできるだけ包括で整えて、ケアマネジャーの仕事の範疇が始まるときに、うまく引き継げるように意識しながら取り組んでいます。また、ケアマネジャーが日常業務の中で、これ以上はオーバーワークと感じたときにはご相談いただければ、その状況をなるべく早く改善できるように、一緒に考えながら取り組んでいます。ケアマネジャーが地域で活躍して下さって成り立っていると思っているので、この方たちがいかに働きやすい環境でいられるかということを考えるのは非常に大事であると思い、日々活動しています。

会 長 ありがとうございます。

そういった中では、カスタマーハラスメントやシャドーワークのこともあります。が、ベースとしてケアマネジャー自身がなかなか余裕がない状況があるというところで理解したらいいですか。ありがとうございました。

委 員 私はケアマネジャーで居宅介護支援事業所の管理者をしているので、自社にも私以外に5人ぐらいケアマネジャーが在籍しています。今お聞きした木下管理者のご意見は、すごくうれしいというか、ありがたいお話で、中西部圏域になるので、服部地域包括支援センターの皆様とは本当に密に連絡を取るよう意識しています。会長がおっしゃられたカスタマーハラスメントやシャドーワークなどは、私もこの仕事をして18年ぐらいになるので、ずっと抱えてきた、また継続している

問題でもありますが、良くも悪くも変わってはきているのは実感しております。

17・8年前と比べると、薄まってる部分も多くあり、社会や地域の理解も進んでいることもそうです。たとえば、以前は、医師はケアマネジャーにしてもらえればいいというような発想が多かったのですが、今はそういったことはほとんどありませんし、消防の方がケアマネジャーがいないと酸素吸入ができないから、来てほしいとか、深夜の2時に呼び出されたこともありましたが、一切今はありません。

一方でご本人やご家族から突拍子もないひどいことを言われたり、非常識な要求をされたりすることがあるのも事実ですし、ここはなくなることかとも思います。自分の会社だけで受け止められないことは、包括や行政と緊密に連携しながら、みんなで利用者を支えることが大事であるということが、先日の介護保険事業者連絡会でも話題にあがっておりました。また、連絡会では、東京で昨年くらいから、介護保険の冊子にケアマネジャーができること、できないことが明確に記載されているという話がありました。何でもやってしまうケアマネジャーをつくらないという観点から大事な取組みと思っています。

私の事業所では、やれるんですけど、あえてしないとか、この人のためにということではなく、後任のケアマネジャーなどのために、どこまでやるのか、やらないのかという判断をきちっと上席にあげるようにということを言い続けていますし、そういう教育をしながら、地域でケアマネジャーなり介護保険を作りあげていくことが大事であると感じております。中央包括とも連携していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会 長 ありがとうございます。今、おっしゃられたリーフレットは東京以外にも横浜市でも出ております。

現在第10期高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定に向けて豊中市でも調査をされていると思いますので、その中で豊中市の実態をちゃんと把握する、分析することが前提になってくるかと思います。

私も先週土曜日にケアマネジャー協会の記念講演でしゃべらせてもらいましたが、ここ20年程度で介護保険をめぐる環境が相当変わってきた、2000年に介護保険が始まった頃のことを知っていますが、行政の人も少し反省していただきたい

なと思いますが、何でもケアマネジャーに言う、ケアマネジャーに相談してくださいねと言うんですね。その風潮はあったか、なかったかという、確かにあったと思います。それが形づくられてきた一つの経過にもなっていると思ったりします。本運営協議会の所掌ではありませんが、ぜひ保険者である市と介護保険事業者連絡会さんとの連名で、そういったリーフレットを作成するなど、検討いただければ応援していきたいと思います。

いろいろなケアマネジャーさんがいらっしゃるのも事実で、私はケアマネジャーはしたことはありませんが、私のように自分でやってしまうタイプ、よかれと思って簡単に依頼を引き受けてやってしまうタイプの人もおられるかも知れません。また、シャドーワークという問題がある一方、放っておけないというケースがあることも事実だと思います。線引きして終わりではなくて、その地域の中に届いていない未充足のニーズというのがあると思いますので、それをどうやって拾いあげていくのかななどを地域会議などの中で明らかにしていく必要があるのではないかという思いがいたします。

議題2 令和7年度認知症初期集中支援チーム事業報告及び令和8年度認知症初期集中支援チーム事業計画について

事務局 <資料説明等>

議題3 豊中市地域包括支援センター運営基本方針について

事務局<資料説明等>

会 長 重複している文言を整理することと思います。

議題4 その他

事務局<資料説明等>

会 長 最後に、全体を通してご質問・ご意見はございませんか。本日は、中央地域包括支援センターの木下管理者から現場の声を聞かせていただく貴重な機会でした。日ごろのご苦勞に感謝を申し上げます。ありがとうございました。